

『眼科学』

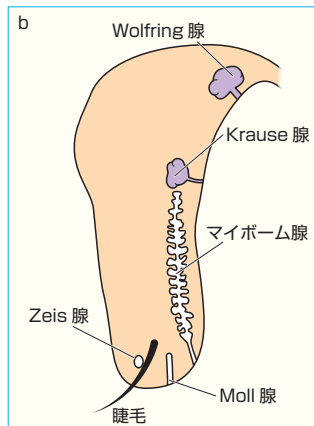
(第3版第1・2刷)

正誤表

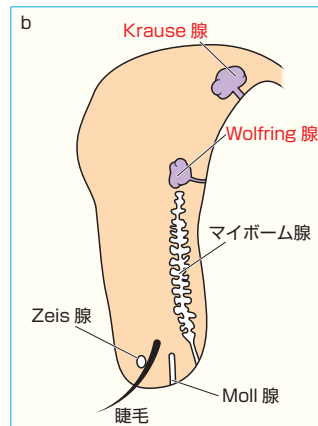
本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.613 図I-O-2 (b) の図中文字

(誤)



(正)



●p.1435 左段 2行目

(誤) 暗順応検査では閾値が低下し、

(正) 暗順応検査では閾値が上昇し、

『眼科学』

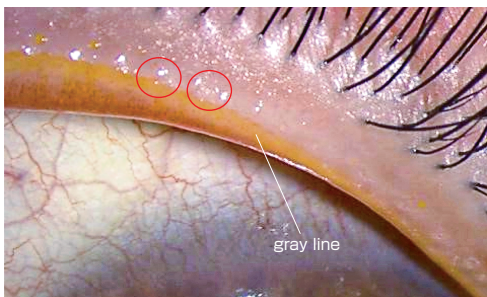
(第3版第1刷)

正誤表

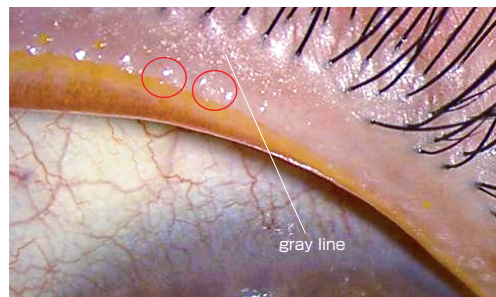
本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.8 図I-B-4 眼瞼縁

(誤)



(正)



●p.8 図I-B-4 眼瞼縁の説明文

(誤) マイボーム線

(正) マイボーム腺

●p.75 左段13行目

(誤) Hatchinson 徴候

(正) Hutchinson 徴候

●p.164 左段下から16行目

(誤) CTよりもMRIによる

(正) MRIよりもCTによる

●p.262 右段下から7行目

(誤) 実質は中胚葉由来である

(正) 実質は神経堤細胞由来である

●p.346 左段16行目

(誤) 眼軸長が短く可能性の高い

(正) 眼軸長が短く可動性の高い

●p.370 右段下から3行目

(誤) 男女比はおおよそ 3:1 で、高齢の女性に好発する

(正) 男女比はおおよそ 1:3 で、高齢の女性に好発する

●p.480 図1-k-3 の図の説明文

(誤) 表在神経線維層および前篩状板部が網膜中心動脈の枝でなされ

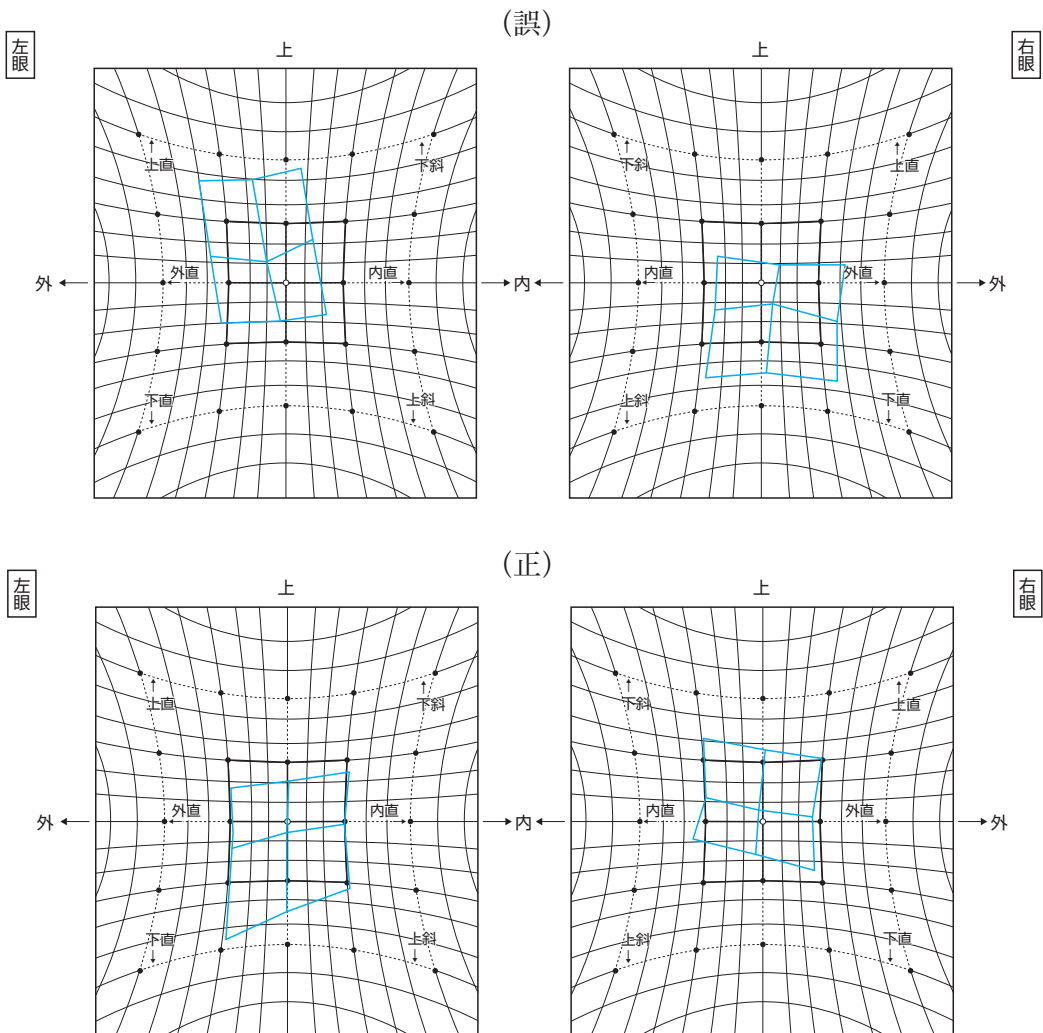
(正) 表在神経線維層および後篩状板部が網膜中心動脈の枝でなされ

●p.707 右段15行目

(誤) Heijl-Klakau 法

(正) Heijl-Krakau 法

●p.806 図II-E-133 右上斜筋麻痺のHESS赤緑試験結果



- p.881 図III-B-25のタイトル
 - (誤) 偽落屑症候群
 - (正) 落屑症候群

- p.1176 左段7行目
 - (誤) vented gas-fluid infusion (VGFI)
 - (正) vented gas **forced** infusion (VGFI)

- p.1187 左段下から7行目
 - (誤) ドナー角膜
 - (正) **レシピエント**角膜

- p.1190 左段下から3行目
 - (誤) アイピレーティングスパーテル
 - (正) **ア**スピレーティングスパーテル

- p.1251 左段7行目
 - (誤) フェムト秒 = 10 ~ 15 seconds
 - (正) フェムト秒 = **10⁻¹⁵** seconds

- p.1282 左段4行目
 - (誤) 目的として谷口重雄, 小澤忠彦により開発された
 - (正) 目的として開発された

- p.1285 左段下から10行目
 - (誤) 偽落屑症候群
 - (正) 落屑症候群